

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-108398

(43) 公開日 平成9年(1997)4月28日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 3 C 9/02 5/00			A 6 3 C 9/02 5/00	B

審査請求 未請求 請求項の数 5 F D (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平7-294835

(22) 出願日 平成7年(1995)10月18日

(71) 出願人 595111675

有限会社クレール・ユー

東京都狛江市岩戸北3丁目11番7号

(72) 発明者 山田 悦雄

東京都三鷹市下連雀4丁目8番27号

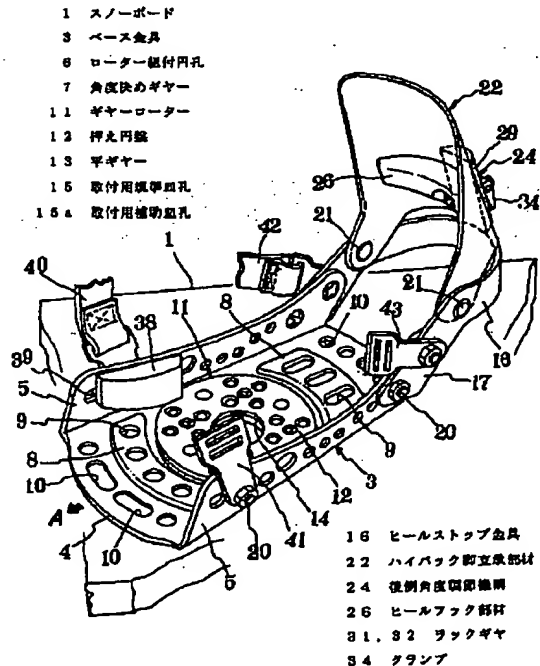
(74) 代理人 弁理士 畠山 隆

(54) 【発明の名称】 スノーボーディング用ブーツビンディング装置

(57) 【要約】

【目的】 ブーツを、スノーボードの好みの位置、好みの角度に調節して簡単に取り付けことができ、運動性を阻害することなくブーツを確実に保持し、ブーツからの運動を確実にボードへ伝播することができるようにする。

【構成】 スノーボード1の上面に取付位置及び該取付位置での回転方向の角度位置調整可能に固着するベース金具3の後端にハイバック脚支承部材22を前倒可能に枢着する。ハイバック脚支承部材22の内面に、装着するブーツ2の踵上に位置してヒールフック部材26を設けたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 スノーボードの上面に取付位置及び該取付位置での回転方向の角度位置調整可能に固着するベース金具の後端に、下端部を前倒可能に枢着すると共にスノーボード面から起立してスノーボーディング用ブーツの後側面を沿設支承するハイバック脚支承部材を設けてなるスノーボーディング用ブーツビンディング装置に於いて、

前記ハイバック脚支承部材の内面に、装着するスノーボーディング用ブーツの踵上に位置してヒールフック部材等からなる踵係止構造を構成したことを特徴とするスノーボーディング用ブーツビンディング装置。

【請求項2】 前記ヒールフック部材等からなる踵係止構造が、前記ハイバック脚支承部材に対して着脱自在になることを特徴とする請求項1記載のスノーボーディング用ブーツビンディング装置。

【請求項3】 前記ハイバック脚支承部材が、該ハイバック脚支承部材に設けられた後倒角度調節機構により、最大後倒角度を規制する構造になることを特徴とする請求項1又は2記載のスノーボーディング用ブーツビンディング装置。

【請求項4】 前記後倒角度調節機構が前記踵係止構造と一体的に取り付けられることを特徴とする請求項3記載のスノーボーディング用ブーツビンディング装置。

【請求項5】 スノーボードの上面に取付位置及び該取付位置での回転方向の角度位置調整可能に固着するベース金具の後端に、下端部を前倒可能に枢着すると共にスノーボード面から起立してスノーボーディング用ブーツの後側面を沿設支承するハイバック脚支承部材を設けてなるスノーボーディング用ブーツビンディング装置に於いて、

前記スノーボードに対するベース金具の固定手段が、該ベース金具側に構成した角度決めギヤーとスノーボード側に固設したギヤーローターに構成してなる平ギヤーの噛合になり、ベース金具とスノーボード間に構成したベース金具浮上手段により角度決めギヤーを前記平ギヤーに対して軸方向に変位し、両ギヤーを噛合または釈放する構造になるスノーボーディング用ブーツビンディング装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、スノーボードに対して位置及び姿勢調節自在、且つ所定の自由度をもって確実に運動を伝達するようにブーツを装着するためのスノーボーディング用ブーツビンディング装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、スキーに類似したスポーツ用具として略1メートルの長さをもった比較的幅広のスノーボードを履いて雪上を滑走降下するスノーボーディングが

普及している。該スノーボーディングは、比較的軟質の構造をもったブーツをボードの適正位置に使用者の体勢に対して好適な向きや角度に取り付けなければならない、その取り付けや位置調節には、専用の固定金具として左右一対のブーツビンディング装置が使用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、この種のスノーボーディング用ブーツビンディング装置は、固定金具の側板によって両側からブーツ位置を挟みつけた状態で支承すると共に、該側板間を連繋する固定ベルトによってブーツを固縛する構造になっている。

【0004】従って、ブーツのサイズに対してある程度の許容範囲を以て取り付けが可能になるような構成にしてあるため、サイズの大小によって固定金具に対するブーツの固定位置にズレを生じ、結果としてスノーボードに対する相対位置が変わってしまう。このため、このブーツのサイズに合わせて該ブーツビンディング装置の取り付け位置の修正を行わなければならない、大変面倒である。

【0005】またブーツビンディング装置の装着に際しては、左右のブーツビンディング装置の間隔が競技者の体格や好みによって異なるばかりでなく、スノーボードに対する水平方向のブーツ取付角度が競技種目や使用者の好みによって異なるため、その都度修正を要する。従って、特にスノーボードを着用する場合は、これらの調節操作が容易であることが必要であり、また迅速且つ確実に調整取付することができることが要求される。

【0006】更に、アクロバティック競技のようにアクションを重視するスノーボーディングでは、ブーツからのあらゆる方向への運動力を的確にスノーボードに伝播することが必要となるが、従来のブーツビンディング装置では、運動力を確実に伝播しようとすると足首の動きが阻害されるようになり、また、足首の動きを確保しようとするとボードへの運動が伝播し難くなって、特に初心者では操作性を困難にしていることからブーツビンディング装置の上記操作性の改善が要望されていた。

【0007】本発明は、上記要望に鑑みその欠点を解消する目的でなされたものであり、サイズの異なるブーツを、スノーボードの好みの位置、好みの角度に調節して簡単に取付けることができるとともに、運動性を阻害することなくブーツを確実に保持し、ブーツからの運動を確実にボードへ伝播することができるようにしたスノーボーディング用ブーツビンディング装置を提供することを目的とするものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明に係るスノーボーディング用ブーツビンディング装置は、スノーボードの上面に取付位置及び該取付位置での回転方向の角度位置調整可能に固着するベース金具の後端に、下端部を前倒可能に枢着すると共にスノーボード面から起立してスノ

ーボーディング用ブーツの後側面を沿設支承するハイバック脚支承部材を設けてなるスノーボーディング用ブーツビンディング装置に於いて、上記ハイバック脚支承部材の内面に、装着するスノーボーディング用ブーツの踵上に位置してヒールフック部材等からなる踵係止構造を構成したことを要旨とするものである。

【0009】また上記ヒールフック部材等からなる踵係止構造は、上記ハイバック脚支承部材に対して着脱自在にすることができる。更に、上記ハイバック脚支承部材は、該ハイバック脚支承部材に後倒角度調節機構を設けることにより、最大後倒角度を規制する構造になる。

【0010】加えて本発明に係るスノーボーディング用ブーツビンディング装置は、スノーボードの上面に取付位置及び該取付位置での回転方向の角度位置調整可能に固着するベース金具の後端に、下端部を前倒可能に枢着すると共にスノーボード面から起立してスノーボーディング用ブーツの後側面を沿設支承するハイバック脚支承部材を設けてなるスノーボーディング用ブーツビンディング装置に於いて、上記スノーボードに対するベース金具の固定手段が、該ベース金具側に構成した角度決めギヤーとスノーボード側に固設したギヤーローターに構成してなる平ギヤーの噛合になり、ベース金具とスノーボード間に構成したベース金具浮上手段により角度決めギヤーを前記平ギヤーに対して軸方向に変位し、両ギヤーを噛合または釈放する構造にしたことを要旨とするものである。

【0011】

【作用】上記スノーボーディング用ビンディング装置は、ブーツの踵上部をハイバック脚支承部材に設けたヒールフック部材等の踵係止構造によって係止し、ブーツの浮上方向の外れを阻止する。従って、スノーボードがジャンプ系のアクションにおけるブーツの移動に対して正確に追従するようになる。

【0012】また、ワンタッチ式の後倒角度調節機構を設けたことにより、ハイバック脚支承部材の最大後倒角度が簡単に調整変更することが可能となり、スノーボーディング競技の内容に応じた最適角度を細かく調節することができる。

【0013】更に、本発明のスノーボーディング用ブーツビンディング装置のスノーボードに対するベース金具の回転方向角度調節固定手段が、ベース金具浮上手段を介して、該ベース金具とスノーボード側に固設したギヤーローターを噛合または釈放の位置に摺動変位できる構造になっている。従って、競技中でもスノーボードに対するビンディング装置の水平方向取付角度を迅速に変更することができる。

【0014】

【実施例】以下、本発明に係るスノーボーディング用ブーツビンディング装置の実施例を図面に従って説明する。

【実施例1】図1乃至図5は第一の実施例を示すもので、本発明のブーツビンディング装置は、スノーボード1の上面に取付位置及び該取付位置での回転方向の角度位置調整可能に固着する構造になっており、該ブーツビンディング装置を介してスノーボーディング用ブーツ2を装着するようになる。

【0015】符号3はアルミニウム及びジュラルミン等の軽量金属板材によって折曲成形した上記ブーツビンディング装置のベース金具であり、底板部4の両側に側板部5、5を折り曲げ立ち上げて、スノーボーディング用ブーツを両側板部5、5間に把持收容するように平面形状が爪先方向(矢印A)に略開いた浅い溝型の構造なる。

【0016】また上記底板部4の略中央には、周縁に5°ピッチの角度決めギヤー7を形成したローター組付円孔6を穿設すると共に、該ローター組付円孔6の前と後側にブーツベース用膨出隆起部8、8と軽量化のための複数の軽減孔9、9…、10、10…を穿設してなる。

【0017】符号11は、上記ベース金具3をスノーボード1の上面に位置調節及び向き調節可能に固着するためのギヤーローターであり、アルミニウムまたはジュラルミン等の軽量金属によって構成してある。該ギヤーローター11は、ローター組付円孔6の内径より大径になる押え円盤12の下面に、角度決めギヤー7と噛合する平ギヤー13を同軸に固着一体化した構造になる。

【0018】該ギヤーローター11には、中央透孔14の周りに4個の取付用規準皿孔15、15…が穿設してあり、該各取付用規準皿孔15の縦横方向に12mmピッチPで取付用補助皿孔15a、15a…を穿設配置してなる。尚、該ギヤーローター11は、押え円盤12と平ギヤー13を一体に成形することもできる。

【0019】ベース金具3は上記ギヤーローター11によってスノーボード1の上面に固設するものであり、基本的には各取付用規準皿孔15から皿ビス25をスノーボード1にねじ込み、平ギヤー13と角度決めギヤー7との噛合位置を調節してベース金具3の旋回方向角度(矢印B)を設定した後確実に締結固定する。

【0020】また、該ベース金具3の固定位置をスノーボード1の前後方向(矢印X)または幅方向(矢印Y)に変更する場合は、取付用補助皿孔15a、15a…を選択使用することができる。

【0021】また符号16は上記ベース金具3の両側板部5、5の後端間を平面形状円弧状に連結したヒールストップ金具である。該ヒールストップ金具16は、アルミニウムまたはジュラルミン等の軽量金属板材によって成形されるもので、両端部の屈折した取付基部17、17に穿設してなる取付用透孔18、18…と、両側板部5、5に穿設した組付用透孔19、19…をビス及びナット20を介して締結一体化した構造になる。

【0022】上記締結一体化したヒールストップ金具1

6には、取付基部17近傍にピンヒンジ21、21を介してハイバック脚支承部材22を前倒自在(矢印C)に枢設した構造になる。

【0023】該ハイバック脚支承部材22は半硬質合成樹脂によって成形され、円弧状断面の脚支持部下端の両側から斜向前方に延びた枢着突起部23、23の先端を、それぞれピンヒンジ21を介してヒールストップ金具16と枢設してあり、後述する後倒角度調節機構24によって使用時の最大後倒角度を規制する構造になる。

【0024】符号26は上記ハイバック脚支承部材22の下端近傍内面に取り付けられたヒールフック部材であり、ブーツビンディング装置に装着したスノーボーディング用ブーツ2の踵部上端を係止して踵部の浮き上がりを阻止する構造になる。

【0025】該ヒールフック部材26は、ハイバック脚支承部材22の内面を横断するように架設した硬質合成樹脂の部材であり、ハイバック脚支承部材22に穿設した透孔27に挿通した後倒角度調節機構24の締結軸28を兼用して取り付けられている。

【0026】上記後倒角度調節機構24は、略半円柱状を呈する部材の長手方向に上記締結軸28を挿通する長孔30を穿設すると共に、背面にラックギヤ31を構成してなる当突部材29を、ハイバック脚支承部材22の背面に対して縦方向に構成したラックギヤ32を選択啮合する構成になる。該当突部材29は、長孔30の両側部に段溝33を構成すると共に、締結軸28の軸端に枢着したクランプ34によって任意の両ラックギヤ31、32の啮合位置で固定または釈放することができる。

【0027】上記クランプ34は、基部を締結軸28に固設したピン軸35に対して切欠軸孔36を係着脱可能に枢着する軸支構造になっており、また該クランプ34の揺動(矢印D)によって該基部に構成したカム曲端面37を段溝33に離接して拘束または釈放する作用をなすもので、ハイバック脚支承部材22の下端から突出した当突部材29をヒールストップ金具16の上端縁に当突して使用時の最大後倒角度を調節する。

【0028】従って該後倒角度調節機構24は、当突金具29のハイバック脚支承部材22の下端からの突出量(矢印E)を大きくすると、ハイバック脚支承部材22の最大後倒角度(矢印C)が小さくなり、逆に当突金具29のハイバック脚支承部材22の下端からの突出量(矢印E)を小さくすると、ハイバック脚支承部材22の最大後倒角度(矢印C)が大きくなる。

【0029】また符号38はサイドフィッティング部材であり、ベース金具3の側板部5に穿設した多数の荷重軽減孔39、39…を利用して、ビス及びナット20により固定し、スノーボーディング用ブーツ2のサイズ調節において、側部の隙間を埋める作用をなす。

【0030】符号40及び41は爪先部締結ベルトとバックル、42及び43は足首部締結ベルトとバックルで

あり、それぞれ基端部をベース金具3の両側板部5、5に穿設した多数の荷重軽減孔39、39…を利用してビス及びナット20により固定し、スノーボーディング用ブーツ2を捕縛固定する構造になる。

【0031】〔実施例2〕図6乃至図9は、本発明の他の実施例を示すものである。本実施例のスノーボーディング用ブーツビンディング装置は、スノーボード1に対するブーツビンディング装置の旋回方向角度(矢印B)を競技場でも簡単に変更することができる構造にしたものである。

【0032】前記第一の実施例と異なる部分の構造について説明すると、本実施例は、上記ベース金具3をスノーボード1の上面に位置調節及び向き調節可能に固着するローター組付円孔6の角度決めギヤー7と啮合するギヤーローター51において構造を異にしている。

【0033】該ギヤーローター51は、ローター組付円孔6の内径より大径になる押え円盤52の下面に、角度決めギヤー7と啮合する平ギヤー53を同軸に固着一体化すると共に、該平ギヤー53の下面に平ギヤー53の谷径と同径になり、且つベース金具3の板厚より僅かに厚い円盤状の回転軸盤54を同軸に固着一体化した構造になる。

【0034】また符号55、56は、ベース金具3の前端部と後端部の底面に挿入する浮上スペーサであり、該両スペーサ55、56に穿設したスナッフ孔57、57には、止め板58、59の下面両端部に突設したスナッフピン60、60をベース金具3の上面から軽減孔10、10を介して挿抜可能に弾性圧入して組み付ける構造になる。

【0035】図6に示すように、上記ベース金具3の前後底面とスノーボード1間に浮上スペーサ55、56を装着した状態では、ローター組付円孔6の角度決めギヤー7に対してギヤーローター51の平ギヤー53が啮合している。従って、ブーツビンディング装置はスノーボード1に対する旋回方向(矢印B)の角度が設定角度に固定された状態にある。

【0036】この旋回方向の角度位置を変更する場合は、止め板58及び59をドライバーまたはコイン等を利用して引き上げることによって各スナッフピン60を浮上スペーサ56及び57の各スナッフ孔57から抜出した後、両浮上スペーサ55、56を前後方向に引き抜く。この状態でベース金具3をスノーボード1の上面に押し付ける(矢印F)ようにすると、図9に示すようにローター組付円孔6の角度決めギヤー7からギヤーローター51の平ギヤー53との啮合が外れ、ローター組付円孔6が回転軸盤54に位置するようになる。

【0037】従って、ブーツビンディング装置はスノーボード1に対して旋回方向(矢印B)に回動自在になり、所望の角度を選択することができる。旋回方向の角度を設定した後、前後の浮上スペーサ55、56をスノ

ーボード1とベース金具3間に挿入すると、ブーツビンディング装置は再び旋回方向の角度が固定された状態にセットされるから、前後の止め板58、59の各スナップピン60、60…を両浮上スパーサ55、56のスナップ孔57に圧挿して固定する。

【0038】尚、上記浮上スパーサ55、56は、ベース金具3をスノーボード1の上面から浮上させるためのベース金具浮上手段を実施するための一つの構造であり、該ベース金具浮上手段は、他に種々構造の実施が可能であることはいうまでもない。

【0039】

【発明の効果】以上述べたように本発明に係るスノーボーディング用ビンディング装置によれば、ブーツの踵上部をハイバック脚支承部材に設けたヒールフック部材によって係止し、浮上方向の外れを阻止しているため、スノーボードがジャンプ系のアクションにおけるブーツの移動に対して正確に追従するようになり、特に初心者の場合のボード操作を容易にする特徴を有する。

【0040】また、ハイバック脚支承部材をヒールストップ金具に対して前倒自在に枢着した構造になるため、運搬時に嵩高を小さくできると共に、該ハイバック脚支承部材の最大後倒角度規制するワンタッチ式の後倒角度調節機構を設けたことにより、スノーボーディング競技の内容に応じた最適角度を細かく調節することができるようになる。

【0041】更に、本発明のスノーボーディング用ブーツビンディング装置は、ベース金具の下面に確実に介装され、而も簡単に取り外すことができる構造のスパーサを設け、該ベース金具とスノーボード側に固設したギヤーローターを噛合または釈放の位置に摺動変位できる構造にしたことにより、ボードに対するビンディング装置の水平方向取付角度を迅速に変更することができる。

【0042】加えて、スノーボードに対して皿ビスによって固設するギヤーローターに、取付用規準皿孔と、該各規準皿孔に対して同方向等ピッチで穿設した取付用補助皿孔を穿設した構造になるため、ブーツビンディング装置を板面に対して縦横方向に位置調節することが可能となる等の特徴を有するものであり、本発明実施後の効果は極めて大きい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るスノーボーディング用ブーツビンディング装置の第一の実施例を示す全体の斜視図である。

【図2】同縦断面図である。

【図3】同旋回方向角度調節部の分解斜視図である。

【図4】最大後倒角度調節部の作用説明図である。

【図5】取付位置調節部の作用説明図である。

【図6】本発明に係るスノーボーディング用ブーツビンディング装置の第二の実施例を示す全体の縦断面図である。

【図7】同旋回方向角度調節部の分解斜視図である。

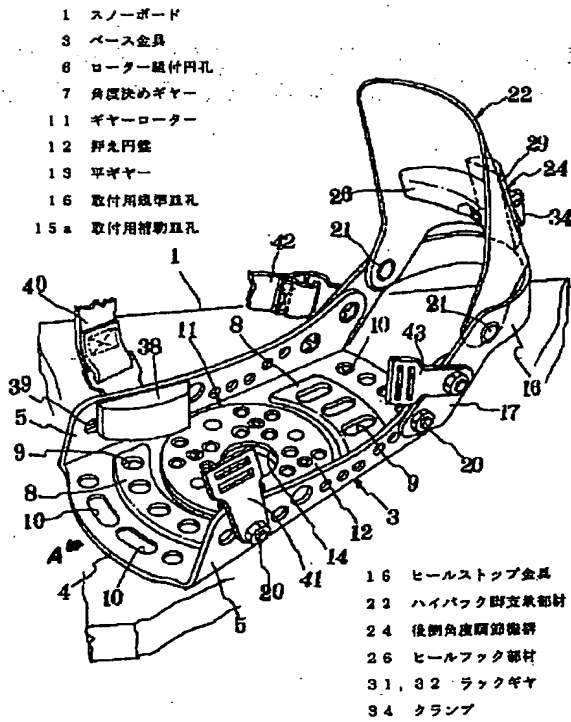
【図8】ベース金具浮上機構部の分解斜視図を示すものであり、(a)はベース金具の先端部、(b)は同後端部位置である。

【図9】旋回方向角度調節部の釈放状態の作用説明図である。

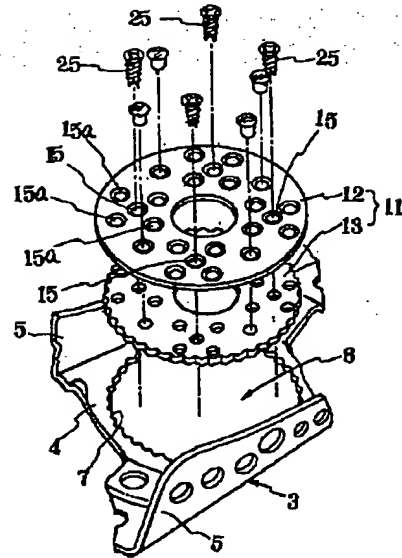
【符号の説明】

- 1 スノーボード
- 2 スノーボーディング用ブーツ
- 3 ベース金具
- 6 ローター組付円孔
- 7 角度決めギヤー
- 9, 10, 39 軽減孔
- 11, 51 ギヤーローター
- 12, 52 押え円盤
- 13, 53 平ギヤー
- 15 取付用規準皿孔
- 15a 取付用補助皿孔
- 16 ヒールストップ金具
- 20 ビス及びナット
- 21 ビンヒンジ
- 22 ハイバック脚支承部材
- 24 後倒角度調節機構
- 25 皿ビス
- 26 ヒールフック部材
- 28 締結軸
- 29 当突部材
- 30 長孔
- 31, 32 ラックギヤ
- 33 段溝
- 34 クランプ
- 37 カム曲端面
- 38 サイドフィッティング部材
- 54 回転軸盤
- 55, 56 浮上スパーサ
- 57 スナップ孔
- 58, 59 止め板
- 60 スナップピン

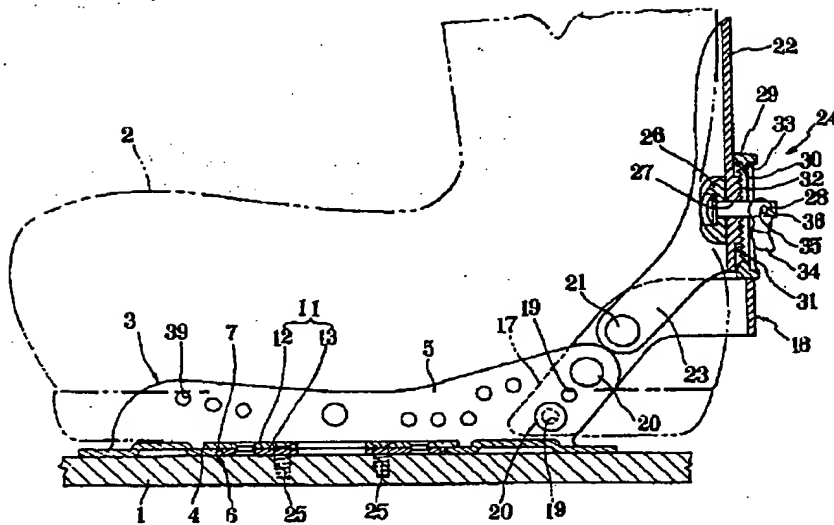
【図1】



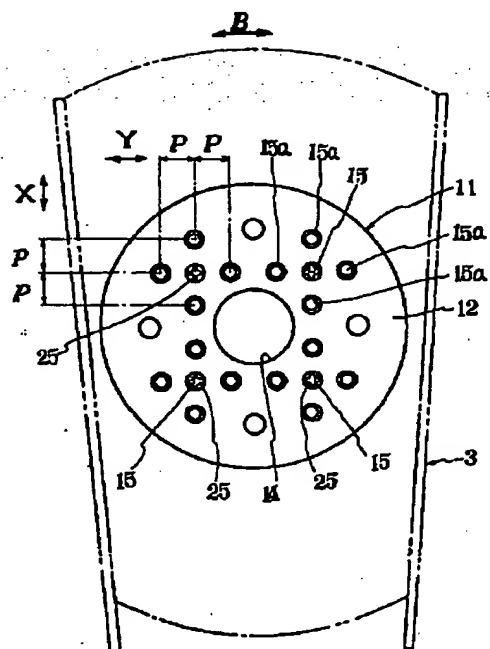
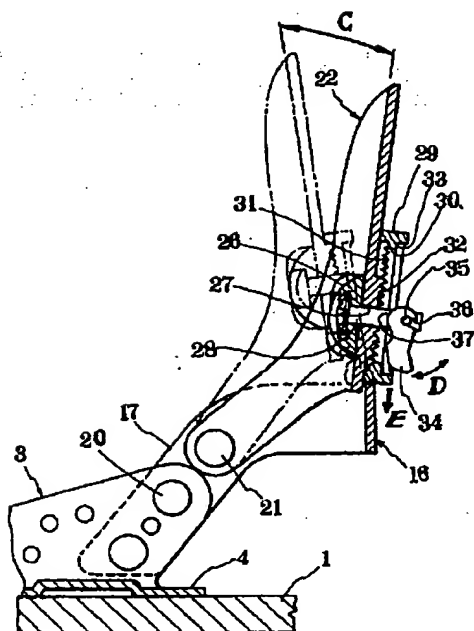
【図3】



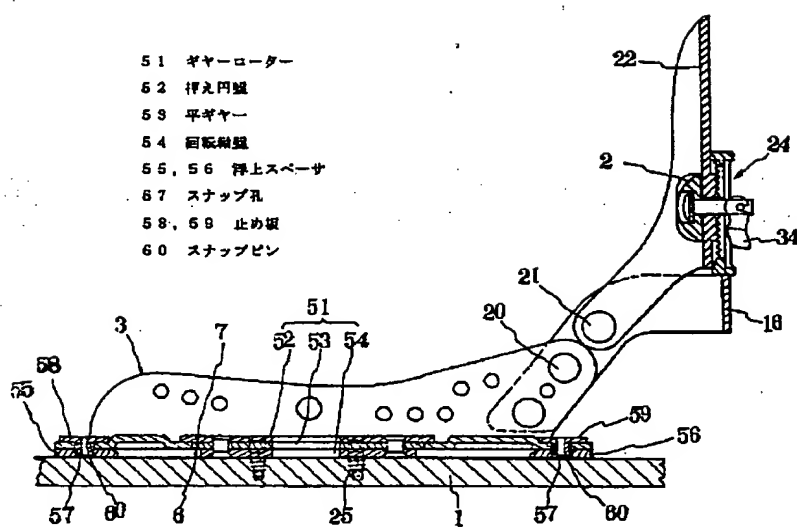
【図2】



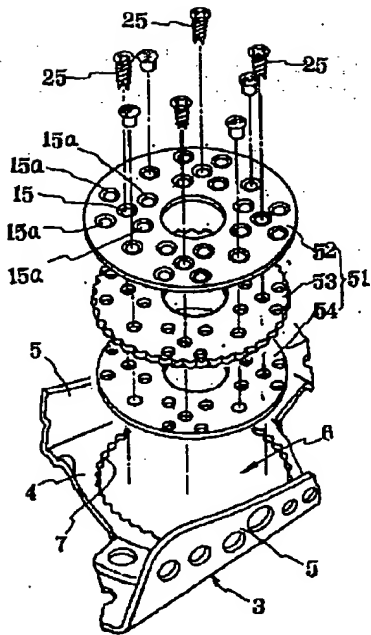
【図5】



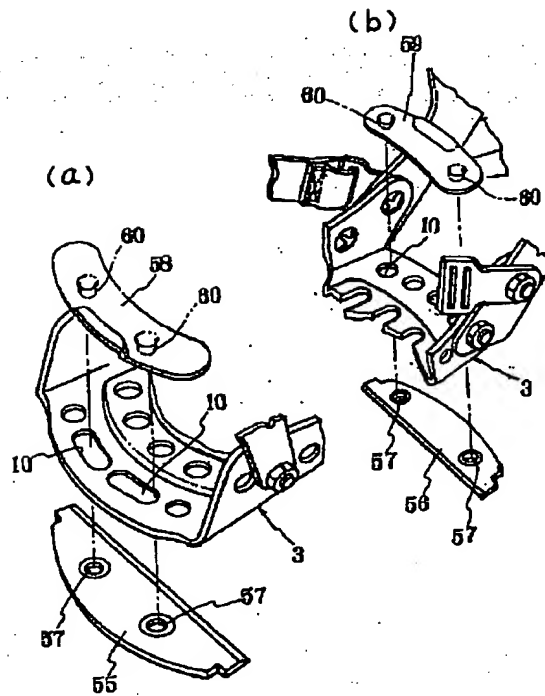
【図6】



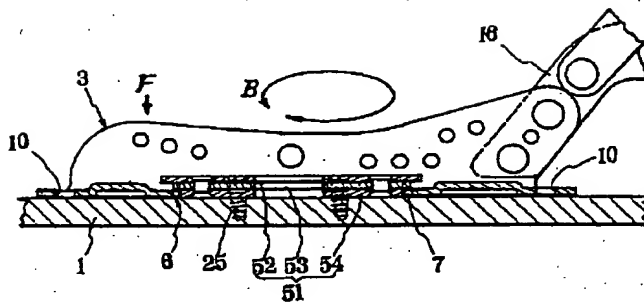
【図7】



【図8】



【図9】



Partial English Translation of
Japanese Patent Laying-Open No. 9-108398

...omitted...

[First Embodiment]

Figs. 1 to 5 show a first embodiment, and a boot binding device of the present invention has a structure fixing to an upper surface of a snowboard 1, enabling adjustment of mounting position, as well as angular position in rotational direction at the mounting position. A snowboarding boot 2 attaches with the boot binding device.

The reference character 3 indicates a base member of the boot binding device, which is formed by bending a light metal sheet such as aluminum or Duralumin into a structure having side plates 5, 5 standing at both sides of a bottom plate 4 of which planer shape is substantially broadened toward the toe direction (arrow A), in a shape of shallow groove, so as to hold and accommodate snowboarding boot between side plates 5, 5.

At substantially middle portion of bottom plate 4, a rotor pair provided hole 6, along which perimeter an angle determining gear 7 with 5° pitch is provided, is perforated, and at toe side and heel side of rotor pair provided hole 6, projections for boot base 8, 8 are provided, and a plurality of reduction holes 9, 9..., 10, 10...for reducing weight are perforated.

The reference character 11 indicates a gear rotor for fixing the base member 3 to the upper surface of snowboard 1 enabling adjustment of position and direction, and is made of light metal such as aluminum, Duralumin. Gear rotor 11 is in a structure having a planer gear 13 which engages with angle determining gear 7 coaxially and integrally fixed to a lower surface of a holding disk 12 having a diameter larger than the inner

diameter of rotor pair provided hole 6.

In gear rotor 11, four mount reference countersinks 15, 15... are perforated around a central through hole 14, and in longitudinal and lateral directions of each mount reference countersink 15, mount auxiliary countersinks 15a, 15a... are perforated in 12 mm pitch P. Note that the gear rotor 11 may be formed with integrated holding disk 12 and planer gear 13.

Base member 3 is to be fixed on the upper surface of snowboard 1 by the gear rotor 11. Basically, a counter sunk screw 25 is inserted from each mount reference countersink 15 into snowboard 1 to adjust the engaging position of planer gear 13 and angle determining gear 7 for setting the rotational direction angle (arrow B) of base member 3, and thereafter, it is tighten to be fixed.

Additionally, when changing the fix position of base member 3 in a front and rear direction (arrow X) or in a width direction (arrow Y), mount auxiliary countersinks 15a, 15a... may be used selectively.

Further, the reference character 16 indicates a heel stop member connecting the rear ends of side plates 5, 5 of the base member 3 in a planer arch shape. Heel stop member 16 is formed of a light metal plate such as aluminum or Duralumin into a structure in which mount through holes 18, 18..., perforated in folded mount bases 17, 17 at its opposite edges, are integrally tightened with assembly through holes 19, 19, perforated at both side plates 5, 5, by screw and nut 20.

Integrally tightened heel stop member 16 is in a structure having a highback leg supporting member 22 pivotally provided, near the mount base 17 with pin hinges 21, 21, allowing it to bend in the forward direction (arrow C).

Highback leg supporting member 22 is formed with semi-hard

synthetic resin, and tips of pivotally attached projections 23, 23, extending from both sides of lower edge of leg support having arch section, are pivotally fixed with heel stop member 16 respectively with pin hinge 21, and thus results in a structure regulating maximum backward bending angle when used by a backward bending angle adjusting mechanism 24 which will be described below.

The reference character 26 indicates a heel hook member mounted at inner surface near lower edge of highback leg support member 22, and has a structure catching heel upper edge of snowboard binding boot 2 attached to boot binding device, for preventing the heel from lifting.

Heel hook member 26 is a member formed with hard synthetic resin, suspended to cross the inside of the highback leg support member 22, and is mounted sharing tightening shaft 28 of backward bending angle adjusting mechanism 24 inserted into through hole 27 perforated in the highback leg support member 22.

Backward bending angle adjusting mechanism 24 has a structure having a long hole 30 perforated, through which tightening shaft 28 is inserted, in the longitudinal direction of a member having substantially half cylindrical form, with abutment member 29 with a lack gear 31 formed on its back selectively engaging with a lack gear 32 formed in vertical direction relative to the backside of highback leg supporting member 22. Abutment member 29 forms stepped grooves 33 at both sides of long hole 30, and can be fixed or released at any engaging position of lack gears 31 and 32 by a clamp 34 pivotally attached to the edge of tightening shaft 28.

Clamp 34 has a pivotally supporting structure in which a cut out shaft hole 36 is pivotally attached enabling engaging or disengaging to pin shaft 35, of which base is fixed to tightening shaft 28. Additionally, the swing movement (arrow D) of clamp 34 achieves the effect of constraining

or releasing cum curve edge face 37 close to or away from stepped grooves 33. Abutment member 29, extending from the lower edge of highback leg supporting member 22, abuts on the upper edge of heel stop member 16 to adjust maximum backward bending angle when used.

Accordingly, backward bending angle adjusting mechanism 24 operates as follows: if the projection (arrow E) of abutment member 29 from the lower edge of highback leg supporting member 22 is increased, then the maximum backward bending angle (arrow C) is reduced; and if the projection (arrow E) of abutment member 29 from the lower edge of highback leg supporting member 22 is reduced, then the maximum backward bending angle (arrow C) is increased.

The reference character 38 indicates a side fitting member, which serves to fit the gap at sides in size adjustment of snowboarding boot 2, fixing with screw and nut 20 using multiple weight reducing holes 39, 39... perforated at side plate 5 of the base member 3.

The reference characters 40 and 41 indicate toe fastening belt and buckle, and 42 and 43 indicate ankle fastening belt and buckle, respectively have their base edges fixed with screw and nut 20 using multiple weight reducing holes 39, 39... perforated at both side plates 5, 5 of base member 3, and thus results in a structure fixedly binding snowboarding boot 2.

...omitted...